

尿検査を受けましょう

病院や検診で皆さんが尿検査を受ける機会は、何度となくあると思います。尿は、私たちに体の様々な症状を教えてくれます。

色や濁りから自分で感染症や脱水の有無を確認することが出来ます。また、試験紙につけると、糖やたん白・血液成分の有無が分かり、糖尿病の疑いはないか、腎臓はうまく機能しているか、尿の通り道に炎症やできものがないかなどが調べられます。

尿自体はきれいでも頻尿、残尿感、くしゃみをしたときなどに出してしまう尿失禁なども、尿が体の黄色信号のサインを出しているといえます。

血液検査はよく受けるが、尿検査は恥ずかしいという方も多いかと思いますが、自分の体が出すサインを見逃さないために、定期的に検査を受けることをお勧めします。「ぼうこう炎によくかかるがすぐに治るから」「頻尿は体質だから」「尿失禁は恥ずかしいので人に言いたくない」などの理由で何年も悩んだ末に、症状がかなり進行したり、慢性化したりしてから泌尿器科に来院される方もたくさんいます。

病気は、どんな病気でも早期回復にもつながります。気軽に相談できるかかりつけの医師に相談し、生活習慣の見直しや薬物療法で、症状の改善をめざし、より快適な毎日を過ごしましょう。

平成 21 年 6 月 松野 嘉紀